

第十五回

深掘り!

京博

バックカード

その十

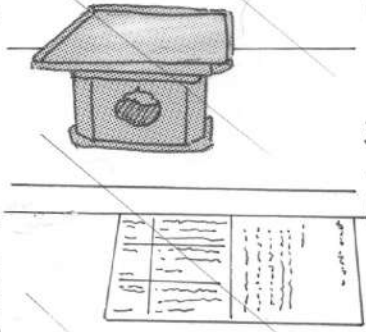
(多言語解説)



| | | |
|----------------|-------|------------------------------------|
| Yuk. | Thek. | 鹿文様 葺改作 扇掛袋 (紅平地・錦) ケシヨリまじり作 |
| 鹿文様 (Kamon) | 本 | |
| 鹿文様 (Kamon) | 錦 | |

多くの博物館や美術館には
展示作品の近くに

その作品のタイトル・作品情報と
解説がついていますね



↑これ

この紙は
「だっせん
題箋」と
いうので
京博の
題箋は
4カ国語で
記されて
います

| | |
|-----|-----|
| 英語 | 日本語 |
| 中国語 | 韓国語 |

京博の題箋は私たちが
翻訳しています

学芸部
調査・国際
連携室の

リンネマリサです

学芸部企画室の
韓国語担当
チヨ
趙ウニルです

中国語担当
オウギョクミン
王珏人です

英語担当
ボレン
ガツセル
カニエルです

よろしくー

みなさん
日本語
パラパラ

今回は
京博の多言語翻訳担当者の取材です

京博で題箋を
4カ国語表記にする
ようになったのは
2018年
からです



イン
バウンド
促進のために
国から
指しがあり
各国立博物館
美術館にそのための
予算がついたのです

あ栗原
副館長

でも

コロナになって
しまいましたね





日本語で読んで

(作品名からして...)

- 宝相華時絵宝珠箱
- 金銀鍍宝相華唐草文様透彫華竹籠
- 白磁金彩鳥鈕蓋付馬上盃
- 「金珧瑯」(長い...)

(刀の解説って)

地鉄の鍛えは小板目がよく詰まり、地沸が細かにつき、刃文は匂が深く、小沸がよくつき、小乱れに丁子が(何のこっちゃ?)

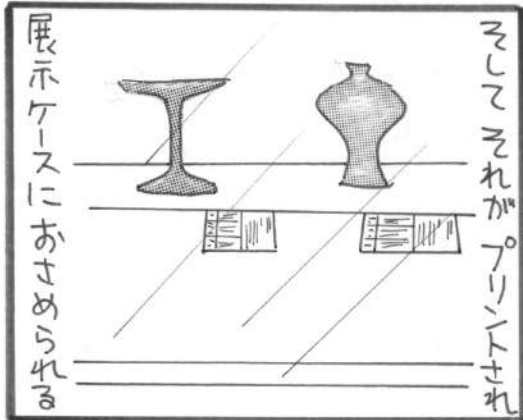
わから
ない

というところがよくあります





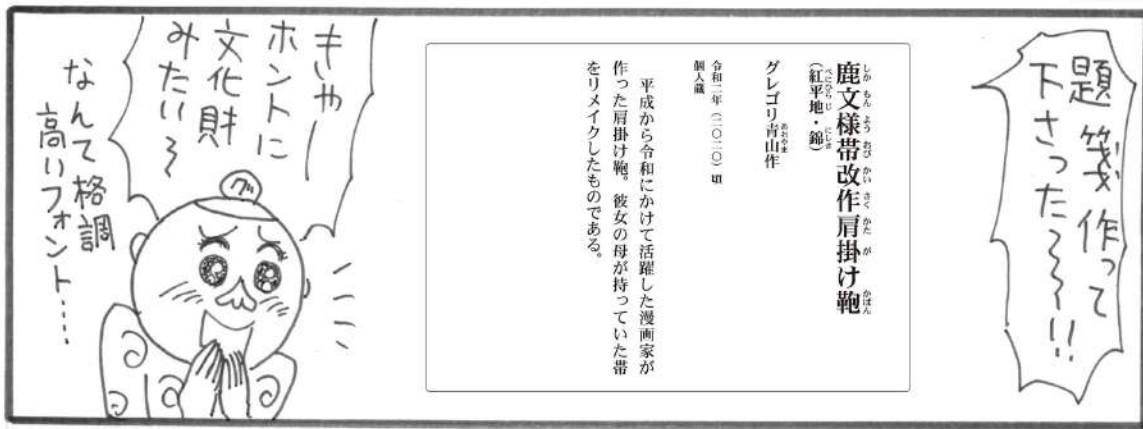






| 2校目 | 1校目 | |
|---|---|--|
| <p><i>Tote Bag with Deer, Refreshed from an Obi</i> By Gregory Aoyama (b. 1966) Silk plain weave with ararat pattern Reims period, ca. 2020 Private collection</p> <p>This tote bag, worn over the shoulder, is made from an obi (kimono sash) textile likely woven in Kyoto's Nishijin district. The artist received the obi from her mother, giving it special meaning. Gregory Aoyama was a manga artist active in Kyoto in the late twentieth and early twenty-first centuries. As a student, she became known by the sobriquet "Gregory" after admiring the actor Gregory Peck in the film <i>Roman Holiday</i>.</p> | <p><i>Tote Bag with Deer Made from a Recycled Obi</i> By Gregory Aoyama (b. 1966) Silk plain weave and pattern weave (washihi) Ca. 2020 Private collection</p> <p>This tote bag, worn over the shoulder, was made with Japanese manga artist Gregory Aoyama, who was active in Kyoto in the late twentieth through early twenty-first century. The obi must have held special meaning for the artist as it had probably belonged to her mother.</p> | <p>2校目は羽立夕日に来た しかも みんなの分を まとめてー</p> |





令和二年 (2020) 頃
個人蔵

平成から令和にかけて活躍した漫画家が作った肩掛け鞆。彼女の母が持っていた帯をリメイクしたものである。

鹿文様帯改作肩掛け鞆
(紅平地・飾)
グレゴリ青山作

| | | |
|--|--|---------------------------------------|
| <p>Tote Bag Remade from an Obi (Kimono Sash) with Deer</p> <p>By Guregori Aoyama (b. 1966) Silk plain weave with areas of pattern weave Reiwa period, ca. 2020 Private collection</p> | <p>The Kyoto-based manga artist Guregori Aoyama made this tote bag by altering an obi that she inherited from her mother. Obi are long sashes, typically made of silk, which are used for tying kimono. Aoyama was active in the late twentieth and early twenty-first centuries and was known for her detailed studies of museum staff.</p> | <p>こちらが「外国語訳」 (英語はボレンガッセルさん訳)</p> |
| <p>鹿纹单肩托特包 (和服腰带改造)</p> <p>格里高利・青山改造 丝绸 (红色平纹地、提花) 约令和 2 年 (2020) 私人收藏</p> | <p>本品は日本漫画家格里高利・青山 (1966-?) 利用其母亲曾经穿用的和服腰带改造而成的单肩托特包、可谓承载了其家族记忆的重要物品。青山以京都为据点、活跃于日本的平成至令和年间 (20 世纪 90 年代至 21 世纪上半叶)。她所创作的以京都国立博物馆为主题的漫画开启了博物馆漫画的先河, 至今仍为人津津乐道。</p> | |
| <p>사슴 무늬 가방 (기모노 허리띠 리폼 작품)</p> <p>그레고리 아오야마 리폼 제작 붉은 평직 비단 바탕·평직 무늬 비단 레이와 2년(2020) 무렵 개인 소장</p> | <p>헤이세이시대(1989-2019)에서 레이와(2019-)에 걸쳐 철약한 교토 출신 만화가, 그레고리 아오야마(1966-?)가 만들었다. 그레고리 아오야마는 교토국립박물관을 주제로 여러 편의 만화를 그리기 시작하면서 박물관 만화라는 장르를 확립시켰다. 이 가방은 토트백처럼 보이거나 손잡이를 넣고 길게 제작하여 어깨에 편하게 쓸 수 있다. 어머니께 물려받은 기모노용 허리띠를 리폼하여 직접 만든 소중한 작품이다.</p> | |

| | | |
|---|--|--------------------------------|
| <p>鹿模様帯 (着物のサッシュ) から改造された トートバッグ</p> <p>グレゴリ青山作 (1966 年生まれ) 絹平織・緋 令和 2 年 (2020) 頃 個人蔵</p> | <p>京都の漫画家グレゴリ青山が、母親から譲り受けた帯をアレンジして作ったトートバッグ。帯とは、着物を結ぶための絹製の帯のことである。青山は 20 世紀後半から 21 世紀初頭にかけて活躍し、博物館の職員をモチーフにして詳細に分析した漫画で知られています。</p> | <p>これを日本語に訳すとこんな感じになるそうです。</p> |
| <p>鹿文様の単肩掛けの トートバッグ (キモノの腰帯から改造)</p> <p>絹織物 (紅平地、紋織) グレゴリ青山改造 令和 2 年 (2020) 頃 個人蔵</p> | <p>日本の漫画家グレゴリ青山 (1966-?) が母親の使っていた帯を改造作った単肩掛けのトートバッグである。彼女の家族の思い出を受け継いだ重要な品と言えよう。青山は、京都を拠点とし、日本の平成から令和年間にかけて (20 世紀 90 年代~21 世紀前半) 活躍していた。彼女の京都国立博物館をテーマとした作品は、博物館漫画というジャンルを確立させ、今でも人々の話題になっている。</p> | |
| <p>鹿文様のカバン —キモノ帯のリフォーム作品—</p> <p>グレゴリ青山リフォーム制作 朱色の平織 silk 地・平織文様 silk 令和 2 年 (2020) 頃 個人所蔵</p> | <p>平成時代 (1989-2019) から令和 (2019-) にかけて活躍した京都出身漫画家、グレゴリ青山 (1966-?) が作った。グレゴリ青山は京都国立博物館をテーマにして数編の漫画を描きはじめ、「博物館漫画」というジャンルを確立させた。このカバンはトートバッグのように見えるが、取っ手を広く長く作ったため、肩に楽にかけることができる。母親から受け継いだキモノ用帯をリフォームして自ら作った大切な作品。</p> | |

